

「女瀬川守る会」 緊急アピール

2004.9.25

(国土交通省が進めている女瀬川スーパー堤防工事について)

「スーパー堤防」とは堤防の幅を広くして頑強にするという意味では大変聞こえが良いようですが、次のような多くの問題点があり、血税の無駄使いもいいところです。皆さんこんなことが許されて良いのですか？ 大阪府はこれまで予算がないといって女瀬川の浚渫もこの20年間一度もやっていません！水につかる内側ブロックの間に太い幹の樹木を生やしたまま放つたらかします。昔から「蟻の穴から堤が破壊される」と言われています。国のスーパー堤防予算を広く大阪府河川管理予算に回して欲しいものです！

～ 津之江運動公園の右岸で38億円の大規模工事進行中！ ～

【問題点】

スーパー堤防（高規格堤防・堤防を100～200mと広くする）はせめて50年位の間に女瀬川の両岸が上流から下流まで完全に完成するのであれば効果大であります。有識者は「恐らく500年以上かかってもそれは完成しないだろう」と言っています。

幅200mの堤防が完成した地区は一見安心でしょうが、かえって残された地区は余分な危険を負わねばならないこととなります。

津之江スーパー堤防の第1期工事（5億円）が始まっています。総額38億円の大事業です。片側の一部だけ強くすれば反対側の堤防や残された部分に圧がかかり、かえって危険になります。

津之江公園右岸の短い区間に常識はずれの38億円もつぎこみ、治水対策として全体として今以上に安全になるとも言うのでしょうか？

その38億円で芥川・女瀬川の上流から淀川まで両岸の補強などに当てた方がバランスが良くなり、しかもかなりお釣が来るのでは！

女瀬川（天堂橋上流90m右岸）ではブロックの間に生えた20本以上の樹木を何年も放つたらかしていたのでブロックが浮き上がり、根っこを掘り出すのにブロックをはずして、クレーンで吊り上げている。

スーパー堤防よりも芥川・女瀬川の土砂の取り除き、貧弱な堤防の個所を点検して補強することが順序ではないのでしょうか！

女瀬川上流では山林が切り取られ宅地開発の結果、保水能力を無くしています。一部の地区だけに集中して38億円かけるよりも全体を平均して強化することが洪水治水対策として正しい道なのではないのでしょうか！

今工事中のスーパー堤防地区には今後公営住宅建設予定は無く、民間に売却して一戸建て住宅が建てられる予定です。そんな民間業者のために血税38億円も使わせて良いのでしょうか？

国の借金は700兆円と言われています。今後も税収不足が続きます。スーパー堤防はバブル期の発想なのに、いまだにそれを引きずり、税金を浪費しています。こんなに目の前で国費の無駄使いが始まるとは驚天動地の思いです！

第一期工事でストップさせよう！

国土交通省さん！

残りのお金を大阪府の河川管理予算に回して下さい！